

第七十九回帝國議會
衆議院

日本銀行法案外二件委員會會議錄(速記)第四回

付託議案
日本銀行法案(政府提出)(第一七
號)
臨時金融庫法案(政府提出)(第
一八號)
臨時資金調整法中改正法律案(政
府提出)(第一九號)

會議

昭和十七年一月二十七日(火曜日)午後二時
八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 板谷 順助君

理事田村 秀吉君 理事長井 源君

理事坂東幸太郎君 理事龜井貫一郎君

理事本田 英作君

大日 喜六君

菊池 良一君

木暮武太夫君

武田德三郎君

豐田 豐吉君

內藤 正剛君

南雲 正朔君

野田 俊作君

堀内 良平君

山本 条吉君

世耕 弘一君

三輪 壽壯君

田中 耕君

補闕トシテ西川貞一君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 賀屋 興宜君

出席政府委員左ノ如シ

大藏省銀行局長 山際 正道君

大藏省爲替局長 原口 武夫君

大藏省會社部長 田中 豐君

預金部長官 相田 岩夫君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

日本銀行法案(政府提出)

臨時金融庫法案(政府提出)

臨時資金調整法中改正法律案(政府提出)

○板谷委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス――

栗山委員 私ハ主トシテ日本銀行法ノ改

正案ヲ骨子ト致シマシテ、大藏大臣並ニ大

藏省事務當局ノ方々ニ御伺ヒシタイと思ヒ

マス、此ノ改正法案ヲ拜見致シマシテ大藏

大臣並ニ事務御當局トシテ非常ナ御努力ト

其ノ裏ニハ容易ナラス御苦心ガアルコトヲ

拜察スルノデアリマス、此ノ所謂大改正ヲ

御提出ニナラレタコト云フコトニ付テハ私ハ

衷心カラ滿腔ノ禮讃ト滿腔ノ感謝ノ念トヲ

有スルモノデアリマス、併シナガラ此ノ法

案ノ改正全體ヲ通ジテ直感致シマスルコト

ハ、是デ此ノ新情勢ニ御満足ナノデアルカ、

當分此ノ儘デヤツテ行ケルノダ、其ノ改正

ノ大目的ヲ果シ得ルモノデアアル、斯ウ云フ

風ニ御考ヘニナツテ居ルノカ、其ノ點豫メ

政府御當局ノ所信ヲ伺ツテ置キタイと思フ

ノデアリマス

○山際政府委員 本法案ハ曩ニ其ノ提案ノ

理由ヲ大藏大臣ヨリ御説明申上ゲマシタル

際ニ言及致シマシタガ如ク、申スマデモナ

ク今後ニ於ケル我が國ノ各般ノ施策ノ中心

ハ、大東亞戰爭ヲ戰ヒ拔キ、高度國防國家

ヲ建設致シマシテ、以テ東亞共榮圈ヲ確立

スル、而モ確立シタノミデハイケナイノデ

アツテ、更ニソレヲ長ク維持シ、且ツ發展

セシムルト云フ相當先マデノ見透シヲ以テ

總テノ政策ガ立案セラレ、行ハレナケレバ

ナラヌト云フコトガ前提ト相成ツテ居ルノ

デアリマス、本法案ヲ立案致スニ當リマシ

テモ、今後恐ラクハ數十年ノ久シキニ互ツ

テ、國家ノ施策ノ全部ヲソレニ打込ンデ努

力シナケレバナライデアアラウ所ノ、其ノ

目標達成ト云フコトヲ眼目ト致シマシテ、

立案ヲ致シヤウナ次第デアリマス、隨ヒ

マシテ今回ノ改正ヲ御願ヒ致シマスレバ、

ソレ等ノ目的ヲ達成スルガ爲ニハ、先ヅ以

テ此ノ機構ヲ行ケルノデハナイカ、斯様ナ

考ヘ方ヲ以テ此ノ法案ヲ提案致シテ居ルヤ

ウナ次第デゴザイマス

○栗山委員 其ノ御當局ノ熱意ト誠意トヲ

以テ是ダケノ改正ヲナサレタノデアリマス

カラ、本員ト致シマシテモ、是マデノ業界

ノ情勢カラ見マシテ、是非非常ナ御奮發デ

アツタ、又之ニ對シマシテハ相當恆久的ノ

性質ヲ帶ビルモノトシテ御提出ニナツタ

ト、斯様ニ御察シ申上ゲルノデアリマスガ、

一體此ノ法案ヲ改正ナサル準備ニ取掛リ、

且ツ其ノ法案ノ成立ツタ頃ハ、抑、昨年ノ十

二月八日――大東亞戰爭ノ勃發致シマシタ

前後ノコトデアリマセウカ、或ハ極ク最近

ニ成案シテ御提出ニナツタモノデアリマセ

ウカ

○山際政府委員 日本銀行制度ヲ改正致サ

ネバナラスト云フコトハ、實ハ十數年來ノ

懸案ニナツテ居ツタノデアリマス、其ノ間

政府當局ト致シマシテモ、出來ルダケノ研

究ヲ重ネテ參ツテ居リ、幾多ノ改正案ハ其

ノ間ニ於テ準備セラレテ居ツタノデアリマ

ス、尙ホ其ノ間民間其ノ他各方面ニ於ケル

改善意見ハ漏レナク之ヲ輯録シ、又最近ノ

諸外國ノ立法例等モ參酌致シマシテ、總テ

ソレ等ノ材料ハ整ヘラレテ居リ、何時之ヲ

現實ノ問題トシテ取上ゲルカ、其ノ時機ガ

寧ロ最後ノ斷ヲ下スト云フ所マデ熟シテ居

ツタノデアリマス、偶、今回ノ戰爭勃發ニ當

リマシテ、其ノ時機ハ正ニ到來シタモノト

考ヘマシタノデ、茲ニ具體的ニ本提案ヲ致

シタヤウナ次第デアリマス

○栗山委員 日本銀行株式會社法案ノ前ノ

規定ヲ見マスルト、文字自體ガ「コレスボ

ンデシス」ト云フヤウナ文字ヲ使ツテ居ル

位デアリマスカラ、申スマデモナク非常ニ

時勢ニ遅レタモノデ、是ハ全ク「ロンドン」

銀行ノ「システム」ヲ燒キ直シニシテ、其ノ

儘其ノ因襲ヲ繰リテ來テ居ツタコト云フニ

過ギナイ古キ姿ノ存在デアアル、大藏大臣モ

申サルヤウニ、數十年モ置去リニサレテ

居ツタ所ノ法案ヲ今度ハ根本的ニ各般ニ互

ツテ大改正ヲ加ヘタノダ、斯ウ仰セラレ

ル、御尤モコトデアリマスルガ、昨年

十二月八日畏多クモ 陛下ノ開戰御宣言ガ

アリマシテ、此ノ御宣言ヲ仰ギマシテ以

來、僅カ二箇月モ經タザル間ニ、實ハ我が

帝國ヲ基本トシテ考ヘマスルト、世紀的ノ

大變革ヲ來シタ、事變以來東亞共榮圈ト云フ言葉ハ度々用ヒラレテ居リマシテ、國民ニ取ツテハ是ガ總テノ一ツノ目標ニナツテ來テ居ル、ソコニ國民ノ考ヘガ有ナル角度カラ向ケラレテ來テ居ツタノデアアルガ、實ハ或ル程度マデハ一ツノ大キナ熱意ノ籠ツタ理想デアツタ、併シ此ノ二箇月間ノ經過カラ見マス、御稜威ノ有難サト申シマセウカ、皇軍將士ノ赫々タル所ノ力戰奮闘ニ依リマシテ、實ニ意外ニ戰果ガ早クモ進展シ、會テ豫想サレタ範圍ニ擴大強化サレテ來タノデアリマス、此ノ大東亞共榮圈內ノ大地域ニ向ツテハ物動計畫ノ上カラ考ヘマス、モウ既ニ物ノ約束ノ出來ル範圍ニナツタ、理想デモ希望デモナイ、現實ノモノトナツタノデアアル、其處ニハ幾多ノ既存ノ民族ガアリ、既存ノ國家ガ形ヲ成シ、經濟的ニモ世界的ニ關聯ヲ持ツタ一ツノ組織詰リ生産、消費、運輸ト云フ方面ニ互ツテ一ツノ經濟體形ヲ成シテ居ル、支那全體ニシテモ其ノ通りデアリマスガ、實ハ十二月八日マデハ此ノ法案ハ數十年間放置シテ居ツタモノヲ改正スルノダト云フ其ノ心意氣モ、今日ハ世紀的ノ大變革ガ現實ニ眼ノ前ニ展開サレタ、此ノ新情勢ニ對シテハ劃期的ナ決心覺悟ヲ以テ處理シテ行カネバナラナクナツタ、隨テ其ノ抱負經綸タルヤ實ニ雄大ナルモノデナケレバナラナイト私ハ斯様ニ信ズル、總理大臣ノ施政方針ノ御演說ヲ聽キマシテモ、大藏大臣ノ施政方針ヲ伺ツテモ、吾々ハ狂喜亂舞シテ此ノ雄大ナル御演說ニ感激ヲ持ツタ、併シ此ノ現實ノ新情勢ニ即應シタ經濟計畫ト云フモノガ裏付ケラレ、立體的ニ經濟計畫ト云フモノガ建設セラレナカツタナラバ、私共ハ何ヲ以テ

カ皇軍將士ノ此ノ絶大ナル犠牲ニ對シテ相見エンヤノ感ヲ持ツバカリデハナイ、英米ヲ相手ニシテ其ノ死命ヲ制スルニ對シマシテハ、尙ホ吾々ハ一段ノ緊張ヲ以テ茲ニ考ヘナケレバナラヌ、サウ云フ時ニ當ツテ此ノ法案ヲ考ヘマス、私ハ數多ノ法案中ニ於テ此ノ法案ハ非常ニ重要ナ意義ヲナスモノデアアル、大藏當局ハ非常ニ重大ナ責任ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ痛切ニ感ジマス、此ノ一言ヲナスノデアリマスルガ、果シテ此ノ展開サレタル所ノ大東亞ノ新情勢ニ對シテ是デ間ニ合フノカ合ハヌノカ、此ノ一點ガ私ガ重ネテ伺ヒ、又多少御參考ニ卑見ヲ述ベテ其ノ御趣旨ヲ伺ヒタイト存ズルノデアリマスガ、兎モ角生ノ考ヘカラ致シマスレバ、簡單ニ申上ゲマスガ、「マレー」ダケデモ、英領「マレー」ガ一箇年ニ輸出スルモノガ二十四億圓、ソレカラ輸入スルモノガ十八億圓程度ニ達スルモノト聞イデ居リマス、或ハ數字ハ多少違ツテ居ルカモ知レマセヌガ、此英領「マレー」ノ一角ダケデモ斯ウ云フ大キナ生産輸出ト輸入消費ガ行ハレテ居ルノデアリマス、「フイリツピン」ニ於テ、或ハ「タイ」ニ於テ、佛印ニ於テ、ソレカラ支那ニ於テ、斯ウ云フコトヲ考ヘマスル時ニ、夥シキ所ノ物ガ動クノデアアル、又動カサナケレバナラヌ、餘談ニ入ルヤウデアリマスルガ、紙幣ノ「インフレーション」ハ左様ニ恐ルベキモノデハアリマセヌケレドモ、物ノ「インフレーション」ニ至ツテハモウ既ニ幾多ノ慘憺タル歴史ヲ持ツテ居ル、此ノ夥シキ物ガ大東亞共榮圈內ニ於テ編在スルコトハ明カニ分ツテ居ル、此ノ編在スル所ノ物ヲ滑ラカニ有無相通ズルト云フコトニハ、ヤハリ何ト申

シマシテモ通貨ガ中心デアアル、通貨ガ滑ラカニ、所謂物ノ交換ノ其ノ本能ヲ十分ニ發揮シテ呉レナケレバナラヌ譯デアリマス、而シテ其ノ通貨タルヤ物ガ大キク動クベクダケソレニ對照シテ相當量ノ通貨ト云フモノガ激シク動カナケレバナラヌ、此ノ觀點カラ申シマスル、是ダケ劃期的ナ御改正ヲ御實施ニナツタニ拘ラズ、日本銀行ノ資本金ヲ一億圓ニ止メテ居ル、成程一億圓ノ資本金額ニ増資スレバ、既ニ日本銀行ハ其ノ半バニ過ギナイ資本金額ヲ以テシテ六十三億圓紙幣ヲ發行シテ居ツタ、資本ハ小サクテモ、幾ラデモ政府ノ命令ニ依ツテ紙幣ヲ出セルデハナイカ、斯ウ言ヘバソレマデデアリマスルガ、昨日來ノ御當局ノ懇切ナル御説明ヲ聽キマス、日本銀行ノ機能ト云フモノハ工業金融ヘノ進出、金融市場ヘノ積極的進出、國債金融ヘノ進出、信用制度ノ保育、如何ニモ尤モナ御説明ヲナサレテ居ル、併シ今日ハ實ニ雄大ナル豫算ヲ以テ財政通貨ト云フモノヲ要求シテ居ル、實ニ巨大ナル金額ヲ以テ幾多ノ、即チ國策的金融機關ヲ設ケマシテ、國家目的ノ爲ニハ採算上ニ危險ナル事業ニ對シテモ政府ガ負擔シテ金融スルコトニ相成ツテ居ル、所謂計畫經濟ノ立場カラ見マシタ所ノ通貨ト云フモノヲ要求シテ居ル、而シテ一面ニ於テ日本銀行ハ從來其ノ主ナル任務ト致シマシタ所ノ産業通貨、國民ノ生活通貨、廣ク言ヒマスレバ所謂經濟通貨、此ノ通貨ノ部面ニ於テ主トシテ日本銀行ナルモノガ其ノ機能ヲ十分發揮スベキ使命ヲ持ツテ居ルノデアリマセウケレドモ、如何ニ考ヘテモ此ノ新ナタル約束ヲ持ツ、而モ擴大強化シタル新地域ニ有スル夥

シキ物資ヲ眺メマス時ニ於テハ、此ノ改正資本金額デハ餘リニ小サイノデハナイカ、小サイ資本金デモヤレルト云フ所ニ私ハモウ一ツ御當局ガ考ヘヲ直シテ時局ニ即應シタ雄大ナル東亞共榮圈ノ金融ノ中核機關トシテ申分ノナイ内容ヲ充實シ、其ノ業務ト資本ト機構ニ於テ、太イ力強い線ヲ引イテ御計畫ニナツテ欲シ、若シ大藏當局ニシテソレダケノコトヲ豫メ御用意ガナケレバ、通貨ノ對照トスル地域ノ全面ニ於テ末梢尖端ニ及ビテ隨所ニ物ノ動キガ硬化シテ來ルノ虞ナキヤヲ懸念スルモノデアリマス、實ハ思ハザル所ノ窮屈サヲ各方面ニ於テ感ズルヤウナ支障ガ起リハシナイカ、サウ云フコトノナイヤウニ東亞共榮圈內ノ末梢尖端ニ至ルマデ太陽ノ光線ガ照披スルヤウニ、スラ／＼ト素直ニ縱橫無盡ニ通貨ト物トガ裏トナリ表トナリ、表トナリ裏トナツテ、圓系通貨ガ物動ノ面ヲ流レテ、大東亞ノ天地ニ新經濟組織ガ立體的ニ建設セラレルヤウニ導カレル所ノ抱負經綸ヲ以テ、更ニ頼母シキ機構ニ變ヘテ戴キタイト云フコトヲ私ハ希望致ス次第デアリマス

○山際政府委員 既ニ大東亞戰爭ガ開始セラレ豫メ我ガ國ノ理想ガ現實ノ姿トナツテ着々實現セラレツツアル場合ニ於テ提案セラルベキ日本銀行法案ナルモノハ須ラク雄大ナル構想ノ下ニ東亞共榮圈內ノ物資ノ生産配給、勞務ノ調整配給、其ノ他各般ノ經濟施策ガ悉ク此ノ日本銀行ヲ中心トシテ動クヤウナ、左様ナ雄大ナル計畫ノ下ニ考ヘラレナクテハナラヌデハナイカト云フ御質問ノ御趣旨ニ對シマシテハ、當局ト致シマシテ全然同感デアアルノデアリマス、唯ソレニ付キシマテハ一億圓ノ資本金ナルモノ

ハ甚ダ小サイデハナイカト云フ御疑問ガアルカノ如ク承ツタノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ私共ハ今後日本銀行ガ擔フベキ使命ニ付テハ全ク御説ノ通りデアリマシケレドモ、其ノ機能ヲ果ス上ニ於テ資本金ガ果ス役割ト云フモノヲ實ハ考ヘテ見タノデアリマス、御承知ノ如ク從來ノ日本銀行デアリマスレバ、其ノ發行致シマスル兌換銀行券ノ信用ハ一應其ノ銀行ガ持ツテ居リマスル資本金デアルトカ、積立金デアルトカ、或ハ其ノ銀行ノ營業振ガ堅實デアルトカト云フヤウナ銀行自體ノ信用ニ於テ、其ノ價值ガ維持セラレルト云フ考ヘ方ガ基本ニナツテ居ルノデアリマス、然ルニ今回ノ立案ニ於キマシテ吾々ガ考ヘマシタ所ハ、日本銀行ノ信用ナルモノハ一日本銀行自體ノ資本金ナリ、其ノ營業振ナリ等ニ依ツテノミ維持セラレベキモノデハ決シテナイ、實ニ銀行券ノ信用ノ基礎ハ國家自體ノ經濟力デアリ、又國家自體ガ經濟ヲ統制シ得ル力、ソレガ即チ銀行券ノ背景トナリ、又其ノ價值ヲ裏付ケルモノデナクテハナラヌ、斯様ナ見地ニ於テ立案ヲ致シタノデアリマス、其ノ結果カラ申シマスレバ、極端ニ議論スレバ資本金モ要ラヌデハナイカト云フ議論モ立チ得ルト思フノデアリマス、併シナガラソレハ餘リニ行過キタ議論デアリマシテ、銀行自體ト致シマシテモ、活動セザル例ヘバ不動産デアルトカ、其ノ他營業設備等モ持タネバナラヌノデアリマスカラ、相當ノ資本金ノ用意ハ必要デアル、ノミナラズ現在既ニ御承知ノ一億圓ヲ超エル積立金モ有シテ居リ、又内部ニ於テ其ノ積立テ居リマスル餘裕モ相當ニアルト云フ狀態デアリマスノデ、彼此レ考ヘ合ハセマシテ、

先ヅ一億圓ト云フコトニ致シテ置キマスレバ、ソレ等ノ要求カラ致シマシテ事缺カヌト云フ程度ノ判斷ニ於テ、一億圓ト決定致シタヤウナ次第デアリマス、金額ハ一億圓デアリマスケレドモ、銀行ノ働キ自體ニ付キマシテハ、只今御話ノ通りノコトヲ考ヘマシテ立案致シタヤウナ次第ニ相成ツテ居リマス

○栗山委員 議論ニ互リマスカラ其ノ程度ニ致シマシテ、私トシテハ滿腔ノ希望ヲ以テ質問致シタト云フ心構ヘダケ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

次ニ此ノ法案ヲ拜見致シマス、全ク御説明ノ如クニ、業務上ニ於テモ其ノ性質ガ以前ノ日本銀行トハ全然變ツテ居ル、外國爲替ノ賣買モ公債ノ買付モ何モ彼モオヤリニナルコトニナツタ、ソコデ第二十三條、二十四條、二十八條、二十九條、三十條、三十一條、三十二條等は等ノ條文ヲ拜見致シマス、日本銀行ハ普通銀行ト從來正金銀行ガヤツテ居ツタヤウナコトヲ併セテ行ヘル、洵ニ思切ツタ改正デアツテ、私トシテハ斯ウナラナケレバナラヌト思フ、ココマデ御改正ニナルナラバ、正金銀行ヲ日本銀行ニ吸收シテ、先般來臺灣銀行、朝鮮銀行モ吸收シヨウト云フ委員ノ質問モアリマシタガ、三ツ共ニ吸收シテシマフガ宜シイ、サウシテ大藏省ニ銀行局ト爲替局ヲ併セタ大キナ外局ヲ設ケテ、ソコニハ練達堪能ナ——大藏御當局ハ勿論ノコト、陸海軍ノ經理關係ノ人モ正金銀行、日本銀行、臺灣銀行、朝鮮銀行ノ練達堪能ナ人物ヲ包容シテ、大藏大臣直屬ノ下ニ大東亞共榮圈ノ内部ノ金融工作ニ國家ノ全智全能ヲ結果シテ働キ掛ケル、更ニ日本ハ世界平和ノ曉ハ「イニシアティヴ」ヲ取

リ、詰リ優先權、決定權ヲ握ム時機ガ來ルト私ハ信ズル、其ノ時ニモ東亞共榮圈以外ノ敵國タルト輻輳國タルト問ハズ、其ノ曉ニ於テ、世界ヲ相手ニシテ申分ノナイ手ガ打テルヤウニ今日カラ御準備ヲナサツテ置クコトガ必要デアアル、日本ノ皇軍ノ赫々タル戰果ニ見マスナラバ、サウ云フコトヲ考ヘテモ宜シイ、サウ云フ決心ヲ以テ總テ當ラナケレバ問ニ合ハナイ、軍部ノ進出發展ニ裏付ケルダケノ行動ガ國民トシテ洵ニ物足りナイ、吾々ノスル任務ガ甚ダ心許ナイ、蓋シ大藏御當局ノ如キ新進氣鋭ノ秀才ヲ集メテ居リ、サウシテ多年ノ經驗ヲ持ツタ所ノ方々ニ依リ起案セラレ、議員ガ名譽ヲ求メズ、地位ヲ求メズ、金ヲ求メズシテ、眞ニ協力一致シテ常ルニ於テハ、必ズ私ハ實行出來ルト思フ、其ノ抱負經綸ハ決シテ一場ノ大言壯語デナイト信ズル、サウ云フヤウナ御心構ヘデ、大藏當局ガ一ツ抱負經綸ヲ傾ケラレル所ノ御考ヘハナイカト云フコトヲ伺ツテ置キタイガ、是ハ大臣ガオイデデアリマセヌカラ、大藏大臣ヲ通ジ、東條總理大臣ニモ御傳達ヲ願ヒタイト思ヒマス

○山際政府委員 只今ノ御尋ネノ中、事務當局トシテ御答ヘ致シ得ル分ヲ御答ヘ申上ガマス、第一點ハ今後日本銀行ヲシテ東亞共榮圈内部ノ各銀行ノ中央機關トスルツカ、或ハ產業金融ノ分野ニモ進出セシムルツカ云フノデアレバ、寧ろ例ヘバ正金銀行ノ如キハ日本銀行ニ吸收シテハドウカト云フ御尋ネト伺ツタノデアリマス、此ノ點ハ日本銀行ノ今後ノ外國爲替關係ノ仕事ト云フモノハ、昨日モ申上ゲマシタ通り個々ノ商社ナリ、個々ノ個人ナリヲ相手ニ、通常ノ外國爲替銀行ガ行ツテ居リマスルヤウナ仕事ヲモ行ヒマスルコトハ、實ハ却テ其ノ能率ノ上ニ於テ宜シクナイ、ソレハ須ク各爲替銀行ニ委セテ置イテ、今度ハソレ等ノ爲替銀行ノ爲替ノ尻ナリ、其ノ資金ナリニ付テ日本銀行ニ於テ面倒ヲ見ルト云フ二段構ヘニ致シマシタ方ガ實際ニ適合スル、斯様ナ趣旨ヲ以チマシテ、斯様ナ本案ニ相成ツテ居ルノデゴザイマス

第二點ハ東亞共榮圈内部ノ金融工作ニ付テ、我が國ノ持ツ全智全能ヲ傾ケ得ルヤウナ行政組織ヲ整備シテハドウカト云フ御尋ネデアツタカト思ヒマス、此ノ點ハ現在ノ所ニ於キマシテハ關係各方面ト極メテ緊密ナル連絡ヲ取ツテ、纏マツタ行政機構ニハ其ノ形トシテ現ハレテ居リマセヌケレドモ、實質ニ於テハ御尋ネノ如キ働キヲ、各廳間ニ於テ十分緊密ナル連絡ノ下ニ行ヒツツアルヤウニ私ハ諒解シテ居ル次第デアリマス

○板谷委員 栗山サン、一寸御待チ下サイ、昨日世耕君ノ爲替局長ニ對スル質問ガ中途半端ニナツテ居リマスノデ、今御見エニナツテ、又他ニ行カレルサウデアリマスカラ、暫ク御待チ願ヒマス——世耕君

○世耕委員 昨日爲替局長ニ御尋ネシテ居ル途中デ、大臣ガオイデニナリマシタカラ、私ノ質問ガ途中デ打切ツタ形ニナツテ、尻切レ蜻蛉デ結論ヲ得ナカツタノデアリマス、此ノ際簡單ニ要點ダケ御尋ネシテ、結論ヲ得タイト思フノデアリマス

南洋方面ノ通貨問題ニ付テ、佛印、「タイ」ハ別ト致シマシテ、敵性行爲ヲヤリマシタ「フィリピン」、蘭印、「マレー」方面ニ於ケル通貨ニ對シテハ、自ラ新シイ計畫ガナクチャナラヌト思ハレルノデアリマス、先

御尋ネ致ス順序トシテ、最初ニ此ノ點ヲ御尋ネ致シテ置キマス

○原口政府委員 昨日南方方面ノ通貨ノ問題ニ付キマシテ、佛印、「タイ」ノ問題ヲ申上ゲマシタガ、尙ホ只今御示シノ占領地域、只今ノ作戰地域、此ノ通貨問題ヲドウスルカ、此ノ問題ハ、此ノ度ノ南方開發金庫ニモ非常ニ密接ナ關係ヲ持ツテ參リマス、尙又東亞共榮圈內ノ物資ノ交流ヲ圓滑ニ致シマスル上ニ於キマシテモ、船舶ノ問題ト相竝ビマシテ、二ツノ重要ナ問題ニナツテ來テ居リマス、之ヲドウ云フ風ニ決メマスカ、只今ノ所ハ、御承知ノ通り、從來ゴザイマシタ現地ノ通貨表示ノ軍票ヲ使ツテ、主トシテ軍事行動ヲヤツテ居リマス、經濟開發ノ段階ニナリマシテモ、差當リノ所ハ軍票ヲ使フト云フコトデ、今度ノ金庫モ出來テ居リマス、併シ其ノヤウナ事態ハ餘リ永續キヲサセナイ方ガ宜カラウ、斯ウ云フ考ヘヲ持ツテ居リマス、軍票ト云フモノハ何ト申シマシテモ、特別ノ使命、性質ヲ持ツテ居リマス、之ヲ長ク經濟方面ニ使フト云フコトハ面白クナイ、斯様ナ考ヘヲ持ツテ居リマス、適當ナ時期ニ於キマシテハ、ドウ云フ形ニナリマスカ、各ノ地域ニ適應シマシタ通貨制度ヲ立テタイ、斯ウ云フ希望ヲ持ツテ居リマス、是レ以上具體的ニ申上ゲルコトハ一寸困難デアリマスガ、例ヘテ申シマスルト、今日「マレー」ノ通貨制度ガドウナツテ居ルカ、「フィリッピン」ガドウナツテ居ルカ、蘭印ガドウナツテ居ルカ、是ハ先刻御承知ノコトト存ジマスガ、非常ニ違ツテ居リマス、只今作戰シテ居リマス「マレー」半島、此ノ通貨ハ「イギリス」政府監督下ノ委員會ガ出シテ居リマス、此ノ發

券ノ機構ト云フモノハ、是ハ今後存續サセテ置ク譯ニハイカヌモノト常識的ニ吾々モ考ヘテ居リマス、所ガ「フィリッピン」ノ方ニ參リマス、彼處ノ政府ガドウ云フ政治的ノ協力態度ヲ示シテ參リマス、彼處ノ通貨モ、極メテ少數ノ銀行券ガゴザイマスケレドモ、大部分ハ「フィリッピン」ノ政府ノ出シタ政府紙幣ガ流通シテ居リマス、而

モ其ノ太イ綱ハ「アメリカ」政府ガ從來握ツテ居リマシタ、此ノ綱ガ切レマシタ後デドウ云フ恰好ニナリマスルカ、ソレ等ノ點ハ餘程今後ノ政治的ノ關係、統治ノ關係ガドウ云フ姿デ參リマスルカ、ソレ等ノ點ト關係ヲ持ツテ來ヨウト思ツテ居リマス、蘭印ハ御承知ノ通り立派ナ發券銀行ヲ持ツテ居リマス、通貨ノ關係ニ於キマシテハ、從來本國カラ殆ド——全部デハゴザイマセヌガ——大體ニ於テ獨立シテ、自治的ニ賄ツテ來テ居リマス、斯様モ、色々戰爭前ノ狀況モ違ツテ居リマス、又今後作戰ノ進展ニ伴ヒマシテ、色々違ツタ狀況ガ出テ來ルト思ヒマス、能クソレ等ノ見透シヲ付ケマシテ、出來ルダケ早イ機會ニ於テ通貨ノ安定ヲ期シタイ、斯様ニ存ジテ居リマス

○世耕委員 大體了承致シマシタ、只今軍票ノ御話ガアリマシタガ、軍票ト占領地域內ニ戰前流通サレテ居ツタ通貨トノ比率ハドウ云フ風ニナツテ居リマスカ

○原口政府委員 只今ノ所、等價デヤツテ居リマス

○世耕委員 ソレハ少シ不都合デハナイカト思フノデス、無論、差當ツテノ場合ダカラ已ムヲ得ナイト仰シヤル理由モ十分了承ハ出來ルノデアリマスガ、例ヘバ、適例ニナルカドウカ分リマセヌ、「ドイツ」ガ「ロシア」

ノ重要ナ地域ヲ占領シタ場合ニ、戰前「マーク」ニ對シテ「ロシア」ノ紙幣ガ「ルーブル」デアツタノガ、占領後「ドイツ」ノ通貨政策ハ、其ノ比率ヲ更ニ低下サセテ、戰前一對二ノ割合デアツタノヲ一對一〇ニ下ゲテ居リマス、是ハ私ハ敗戰國ノ國民ノ負擔トシテ、自ラ當然負フベキモノデハナイカト思ヒマス、然ルニ、今局長サンノ御話ニ依

リマスト云フト、占領地域ノ通貨ト皇軍ガ使ツテ居ル軍票トヲ等價ニシテ、ソコニ何等ノ差別ヲシテ居ナイト云フコトハ、占領地域ノ經濟政策ノ建前カラ見テ矛盾ガアルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス、尙ホ他ノ面カラ考ヘテ見マシテモ、「フィリッピン」玆ニ蘭印、其ノ他ノ銀行紙幣、通貨、貨幣ト云フモノハ、多クハ英米ニ依存シテ居ツタ、同時ニ在外正貨資金等ノ如キモ、相當多額英米本國ニ押ヘラレテ居ルダラウト思フ、唯其ノ單純ナ觀點カラ見マシテモ、現在南方ノ占領地域內ノ通貨ハ戰前ヨリモ暴落シテ居ナケレバナナス筈デアル、然ルニサウ云フヤウナ通貨ノ實質價值ガ下ツテ居ルニモ拘ラズ、尙ホ軍票ト同價值デ取扱フト云フコトニ付テハ、何カソコニ政治的意味カ、經濟的理念ガナケレバー一寸納得出來スノデス、此ノ點ハ特ニ私ハ軍ノ方カラモ御伺ヒシタイト思ツテ居ツタノデスガ、大藏省トシテノ御考ヘヲ念ノ爲ニ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○原口政府委員 速記御止メ願ヒタイト存ジマス

○板谷委員長 速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○板谷委員長 世耕君、爲替局長ハ南方金庫委員會カラ頻リニ呼ビニ來テ居リマスガ、

若シ長ケレバ又次ノ機會ニデモナサツタラ如何デセウカ

○世耕委員 二點ダケ簡單ニ御尋ネシテ置キマス、現在現地ニ於テ流通シテ居リマスル通貨ハ、軍票以外ニ何カ流通シテ居リマスカドウカ、アラバドシナ形式デ流通サレテ居ルカト云フコトヲ御尋ネ致シタイノデアリマス

○原口政府委員 私共現地ノ機關カラ報告ヲ受ケテ居リマスル所ニ依リマスルト、今日尙ホ從來ノ通貨ガ相當程度流通致シテ居ルヤウデゴザイマス

○世耕委員、ソレモ其ノ儘繼續サセル積リデアリマスカ、或ハ何等カノ形式デ取扱フ御方針デアリマスカ、其ノ點伺ヒタイト思ヒマス

○原口政府委員 恐レ入リマスガ速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○世耕委員 大體ノ御趣旨ハ諒承致シマシタガ、是ハウツカリ取扱ヘバ非常ナ弊害ガアルト同時ニ、又ボシヤリ經過スレバ非常ナ損失ヲ來スト云フコトモ考ヘテ置イテ戴カナケレバナラスト思フノデアリマス、私ハ大體占領地域ノ通貨政策ハ、軍事行動ト竝行シテ、行カナケレバナラストモノダト思フ、此ノ點ニ付テ臨機應急ノ措置ガアツテ然ルベキダト思フノデアリマスガ、少クトモ現地ノ經濟情勢其ノ他ヲ考慮致シマシテ、新紙幣發行ノ計畫ヲ立テルトカ、或ハソレデナカツタラ、現在流通シテ居ル紙幣ニ對シテ或ル程度ノ制限ヲ加ヘル、或ハ形式的ニ言ヘバ「スタンピング」スルトカ、何カノ應急措置ガ私ハ當然アルベキダト思フノデアリマス、勿論御當局ノ説明ニ依ツテ、此ノ通貨

政策が即ち我が國トノ物資ノ交流、政治工
作、經濟界ノ安定如何ニ重大ナ影響ガアリ
マスルカラ、極メテ慎重ヲ要スルコトデア
リマスルガ、ドウゾサウ云フ點ニ付テ十分
ナ御用意ト、緊密ナル連絡ヲ執ツテ萬遺憾
ナキヲ期シテ戴キタイ、特ニ附加ヘテ申上
ガタイノハ、是ハ滿洲、支那ニ於ケル狀況ト
ハ自ラ違フノデアリマスカラ、此ノ點ヲ十
分考慮ノ中ニ入レテ善處シテ戴キタイと思
フノデアリマス、此ノ點ハ希望ヲ述ベテ結
論ト致シマス

最後ニ、昨日閣下シマシタノデスガ、上
海並ニ香港ノ敵性銀行ノ關係デスガ、是ハ
ドウ云フ風ナ跡始末ヲナサツテ居ラレカ、
其ノ御方針ガアレバ此ノ際承リタイと思ヒ
マス

○原口政府委員 昨日アノ時大藏大臣が見
エマシタノデ、其ノ御質問ニ御答ヘ出來マ
セヌデ大變恐縮ニ存ジマスガ、實ハ上海及
ビ香港ニ於キマスル敵性銀行ノ處理、是ハ
敵產管理ノ一部トシテ、アチラデ大藏省以
外ノ機關ガヤツテ居リマス、軍ガヤツテ居
ルモノガゴザイマスシ、或ハ一部興亞院
デヤツテ居ルモノモゴザイマス、大變恐縮
デゴザイマスガ、私カラ一寸申上ダ兼ネマ
ス

○世耕委員 委員長ニ御願ヒ致シテ置キマ
シタガ、尙ホ軍票ノ處理其ノ他上海、香港方
面ニ於ケル所ノ敵性銀行ノ處理ニ付テ、二、
三點軍ノ意見ヲ聽キタイと思ヒマスカラ、
ソレハ留保サシテ戴キタイと思ヒマス

○板谷委員長 内藤君、簡單ナラバ御許シ
致シマスガ……

○内藤(正)委員 極ク簡單ニ關聯事項ダケ
ヲ伺ヒマス、詳シイ説明ハ要リマセヌ、支那

ニ於ケル軍票ト「マレー」方面、或ハ「フィ
リッピン」、蘭印等ニ使ハレテ居リマス軍票
ト區別サレテ居ルノデスカ、同ジモノデス
カ

○原口政府委員 只今南方デ使ツテ居リマ
スル軍票ハ現地通貨表示ノ軍票ヲ使ツテ
居リマス、例ヘテ申シマスルト、「ペソ」デ
表示サレテ居ル軍票、ソレカラ海峽「ドル」
ヲ表示サレテ居ル軍票ヲ使ツテ居リマス、支那
ニ於キマシテハ、御承知ノ通り圓デ表示サレ
タ軍票ヲ使ツテ居リマス、其ノ點ハ違ツテ
居リマス

○内藤(正)委員 ソレカラモウ一點伺ヒマ
ス、私共ノ知レル範圍デハ從來出テ居ツタ
日本ノ圓札ガ相當アルノデス、其ノ仕末ヲ
ドウナサイマスカ、私ハ知ツテ居リマスガ、
「フィリッピン」ノ方面ニ澤山アリマス、ソ
レハ通用ヲ禁止サレテ居ルノデスカ、ヤハ
リ使ハシテ居ルノデスカ、先程ノハ今ノ軍
票ノ御話デシタガ、從來アツタ兌換券ノ方
ハドウナリマスカ

○原口政府委員 從來海外ニ出テ居リマシ
タ日本銀行券其ノ他ノ圓札、是ハ戰爭前ニ
於キマシテモ爲替管理法ノ運用ニ依リマシ
テ、我が國ニ持歸リマスルコトハ、特別ノ
モノヲ除キマシテ殆ド許可ヲ致シテ居リマ
セヌ、ソコデ第二ノ御質問ノ、ソレナラバ
現在「フィリッピン」ニアル日本銀行券、圓札
ハ一體ドウナツテ居ルカ、斯ウ云フ御尋
ネデアリマスルガ、是ハ過日新聞ニモ出テ
居リマシタガ、アチラノ軍司令官ノ命令ニ
依リマシテ、現地ノ通貨ニ付テ或ル布告ヲ
出シテ居ルヤウデアリマス、ソレニ依リマ
シテ禁止シテ居リマスカ、ドウデスカ、現
地ノ軍司令官ノ命令デ流通サセルナリ、或

ハ流通ヲ禁止スルナリ、左様ナコトニ今日
ノ建前ハナツテ居リマス

○内藤(正)委員 事實上禁止サレテ居ルト
云フナラモウソレデ仕方ガアリマセヌガ、
事實其ノ兌換券ヲ「ペソ」若シクハ「ギルダ
ー」ニ換ヘテ、サウシテ片一方デ今ノ軍票
ニ換ヘル虞ガアルト思フノデス、ソレ以上
詳シク聽クモトモ難カシイト思ヒマスガ、
併シナガラ持ツテ居ル人ニ對シテハ將來何
カ救済スルコトデモ御考ヘニナツテ居リマ
スカ、事實上「フィリッピン」人ナド持ツ
テ居ル、其ノ仕末ハドウナツテ居ルカ、唯其
ノ點ダケ伺ツテ置キマス

○原口政府委員 從來海外ニ出テ居リマ
シテ、隨分長年働イテ、サウシテ爲替管理
法ナドノ面倒ナ規則ヲ知ラス人ガ、南米
邊リデ澤山ゴザイマシタガ、圓札ヲ擱マサ
レマシテ、百圓ノ札ヲ三十圓デ買ヒマスカ、
四十圓デ買ヒマスカ、サウシテ久シ振リデ
横濱ヘ歸ツテ參リマシテ、ソレヲ沒收サレ
テシマフト云フ場合ガ隨分ゴザイマシタ、
ソレデ私共モ甚ダ不本意ニ存ジマシテ、他
ニ方法モゴザイマセヌデシタカラ、外務省
ノ本省ヲ通ジマシテ出先ノ官憲ニ能ク其ノ
邊ノ所ヲ徹底サセマシテ、サウ云フ安イ圓
ヲ買ツテモ日本ニハ持ツテ來ラレナイト云
フコトヲ可ナリ徹底サセタノデアリマス、
私共ノ調べニ依リマスルト、「フィリッピ
ン」ニゴザイマスモノハ兩三年前カラ上海
ニアツタモノガ大部分ツテ居ルヤウデアリ
マス、ドウモ遺憾ナガラ今日ノ建前ト致シ
マシテ、ソレヲ持ツテ居ル人ハ氣ノ毒デア
リマスガ、救済スルコトハ出來モ致シマセ
ヌシ、又只今ノ所救済スルコトヲ考ヘテ居リ
マセヌ

○板谷委員長 武田君ニ申上ゲマス、大藏
大臣ガ三時頃出席ガ出來ルト云フコトデア
リマシタガ、只今豫算總會デ答辯中デ、本
日ハ或ハ不可能デヤナイカト云フ御話デア
リマスカラ、ドウカ左様御承知ヲ願ヒマス

○武田委員 明日ハ見エマスカ

○板谷委員長 成ベク御出席ヲ求メマス

○栗山委員 昨今上海、天津ニ於キマ
シテ日本軍ガ鮮カニ、迅速ニ租界ヲ接收致
シマシタコトヲ承知シテ居リマスガ、願ハ
クハ租界内ニ於ケル外國銀行、蔣介石系統
ノ銀行、或ハ純正銀行等ノ内容ヲ出來ルダケ
詳シク伺ヒタイと思ヒマス、尙ホ更ニ夥シ
キ物資ガ管理サレテ居ル筈ト思ヒマスガ、
ソレ等ノ大體ノ品目、數量等ヲ伺フコトガ
出來マスナラバ——是ハ我が國民ガ多年事
變以來、租界問題ニ對シテハ一ツノ希望、
熱望ヲ持ツテ居ツタノデアリマス、幸ヒニ
今回ハ鮮カニ接收サレタノデアリマスカラ、
國民ト共ニ知リタイト同時ニ、實ハ本案ノ
審議ニ當ツテ中々重要ナ要素ヲ持ツテ居ル
ノデアリマスカラ、若シマダ一般ニ公表ス
ル時期デナイ、或ハ又ソコニ致シ難イト云
フ事情ガアリマスナラバ、祕密會ナリトモ
本委員會ニ於テ審議ノ途中ニ開カルルヤウ
御取計ラヒヲ願ヒタイと思ヒマス、尙ホ今
回占領セル香港ニ於ケル外國銀行或ハ支那
銀行ノ内容等モ大分御分リニナツタト存ジ
マス、ソレ等ノ事柄ハ東亞共榮圈内ノ中核
體トシテノ大使命、責任ヲ擔ツテ居リマス
ル銀行制度ニ付キマシテハ、洵ニ緊要ナ參
考ニナルト存ズルノデ、出來ルダケ一ツ委
員長ヨリ政府ト折衝ノ上、吾々ガ知ルコト
ガ出來ルヤウ御取計ラヒヲ願ヒタイと思ヒ

マス、私ハ大藏大臣ニ對スル質問ヲ一、二點保留ヲシマシテ、私ノ質問ヲ是デ終ヘマス。

○板谷委員長 堀内サン、政府委員ノ方ガオイデニナリマスガ、アナタハ宜シウゴザイマスカ——堀内良平君

○堀内委員 一、二點事務的ノコトヲ伺ヒタイ、日本銀行法ガ擴張ヲサレマシテ、總テノ貸出其ノ他ニ付キマシテ普通銀行ト同ジヤウナコトニナツテシマフヤウデアリマス、サウ云フコトニナリマスルト、從來例ヘバ貸付ノ方法ニ致シマシテモ、日本銀行ノ擔保ニ取ル有價證券、見返擔保品ト云フモノハ極メテ少數ノモノニ局限サレテ居ツタ是ガ今度ハマルデ逆ノヤウナコトニナルノデヤナイカト思フノデアリマス、一例ヲ申セバ私立銀行ハ色々缺點等ノコトモ考ヘマス爲ニ或ハ貸出ヲ避ル場合モアラウト思ヒマスガ、日本銀行ノ今度ノ立場ハ國家ノ損失ニ歸スルヤウナ場合ガ多イノデアリマスカラ、サウ云フヤウナコトヲ考ヘナイ譯デハナイケレドモ、直接日本銀行トシテノ取扱ヲスルコトカラ考ヘマシテモ、サウ云フ場合モアラウカト思ヒマス、サウ云フヤウナ場合ニ於キマシテ日本銀行ガ積極的ニ此ノ改正ニ依ツテ業務ヲ執行スルト云フ場合ニナリマシタナラバ、民間銀行トノ關係ハドウ云フコトニナルノデアリマセウカ、民間ハ却テ是ガ爲ニ營業的ノ壓迫ヲ感ズルヤウナコトハナイノデアリマセウカ、若シ民間銀行ニ一部ヤラセテ、日本銀行ハ其ノ範圍ヲ狭クシテ行クト云フヤウナコトデアレバ、今度ノ改正ガ一向意味ヲナサスコトニナリマスガ、其ノ點ハドウ云フコトニナルノデアリマセウカ

○山際政府委員 今回ノ改正ニ依リマシテモ、日本銀行ガ直接ノ取引ヲ致シマス先ハ普通銀行其ノ他ノ金融機關ニ限定スル考ヘデアリマス、隨ヒマシテ業務ノ分野ヲ擴ゲマシテモ、其ノ結果トシテ普通銀行トノ間ニ競争、競合ト言ツタヤウナ關係ハ生ジナイモノト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

尙ホ從來見返リ品等ノ範圍ニ付キマシテ、是モ普通銀行ナドノ便益ヲ圖リマス考ヘ方カラ、相當範圍ニ取扱ツテ居リマスシ、今後日本銀行ガ擔保ト致シマス有價證券ナドニ付キマシテモ、同様ニ成ベク廣イ範圍ヲ認メマシテ、普通銀行其ノ他ノ金融機關ノ手持ノ證券類ガ日本銀行カラ資金ヲ供給セラレマス場合ニ役ニ立チマスヤウニ十分ノ留意ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○堀内委員 只今ノ御説明ノヤウニ御取扱ヲナサルト云フコトデアリマスレバ、實際ノ扱ヒニ於テサウ云フコトニナルノデアリマセウガ、今回ノ改正ノ趣旨カラ考ヘテモ、法文ノ上カラ解釋致シマス、殆ド日本銀行モ普通銀行モ同ジヤウナコトニナル、ソコデ巷間傳フル所ニ依リマス、此ノ改正案ヲ積極的ニ實行シテ行クトニナルト、金融一元化ト云フコトニナル、ソコデ例ヘバ民間ノ銀行トシマシテモ色々銀行ガアリマスガ、結局事實上ニ於テ皆日本銀行ノ支店見タイナモノニナルノデハアルマイカ、日本銀行三井支店、日本銀行三菱支店ト云フヤウナコトニ將來ナツテ行クノデハアルマイカ、組織ハサウナラナイシテモ、其ノ扱振リ、總テノコトハサウ云フヤウナ方向ニナルノデハナイカト云フコトヲ頻リニ聞クノデアリマス、是ニ於テ伺ツテ見タイ

ト思ヒマスノハ、今後貸付其ノ他ニ對シマシテ、普通銀行ニ對シテ融資命令ト云フヤウナモノヲ政府カラ御發シニナルデアリマスカ、或ハ今日ノ如ク銀行ヲ監督スル程度デアツテ、積極的ニ融資命令ト云フヤウナモノハ御出シニナラスノデアリマセウカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○山際政府委員 只今ノ御尋ネハ、本案ニ依レバ實際上各普通銀行ノ如キハ、寧ロ日本銀行ノ支店ノヤウナコトニナルノデハナカラウカト云フヤウナ御尋ネデアツタト存ズルノデアリマスガ、今日我が國ノ金融政策ノ上カラ申シマシテ、全金融界ヲ打ツテ一丸シテ、一元的ニ操作ガ出來ルト云フコトガ一番肝要ナ點ダト考ヘテ居ルノデアリマス、本案ハ左様ナ一元的統制ガ成ベク實行出來ルヤウナ仕組ニ致シタイト云フノガ、一ツノ重要ナル狙ヒニ相成ツテ居ルノデアリマシテ、其ノ實體カラ申シマスレバ、此

ノ日本銀行ト其ノ他ノ普通銀行トノ間ガ獨立關係ト申シマスガ、對立關係ト申シマスガ、左様ノ關係ガナクナルト云フコトハ疑ヒモナイ事實デアリ、又サウシナケレバナラスモノト考ヘテ居リマス、併シナガラ組織ノ上ニ於テ又其ノ責任ヲ各、分チ合ツテ全力ヲ盡スト云フ關係ニ於テ、全部ヲ制度的ニ統合スルコトガ宜イカ惡イカト云フコトハ、餘程考究ヲ要スル點デアラウト思フノデアリマスガ、今回ノ改正ハ其ノ點マデ觸レテ居リマセスコトハ、御覽ノ通りニ相成ツテ居ルノデアリマス

尙將來普通銀行等ニ對シテ融資命令ノ制度ヲ適用スルヤウナコトガアルデアラウカト云フ御尋ネデアリマス、御承知ノ如ク今回本委員會デ御審議ヲ願ツテ居リマス戰時

金融金庫モ設立セラレテ參リマスコトデアリマシテ、相當將來ノ危險性ト云フ觀點カラ、或ハ融資命令ニ依ラナケレバナラスカト思ハレルヤウナモノモ其ノ方面ニ於テ相當消化セラレルコトニ相成ルデアラウト存ズルノデアリマス、其ノ結果ト致シマシテ、普通銀行ニ其ノ程度ニ於テハ融資命令ヲ發動スル機會モ少クナラウカト思ヒマスケレドモ、併シナガラ直接普通銀行ヲ煩ハシタ方ガ宜イト思ハレルモノガアリマシタ場合ニ於キマシテハ、尙ホ融資命令ヲ出ス餘地ハ今後ト雖モ存續致シタイト考ヘテ居リマス

○板谷委員長 堀内サン、事務的ノ御質問ナラバ後廻シニ願ヒマシテ、四時カラ本會議ガ開カレマスノデ、武田君ガ大藏大臣ニ對スル質問ヲ保留シテアリマスカラ、此ノ際御譲リヲ願ヒタイト思ヒマス——武田徳三郎君

○武田委員 私ハ大藏大臣ニ此ノ日本銀行法案ノ最モ主要ナル部分ニ付テ御伺ヒ致シタイト思フノデアリマス、我が國ガ此ノ戰爭ノ進展ト共ニ各種ノ經濟統制ガ進メラレテ參ツタノハ當然ノ成行キデアリマスガ、唯金融統制ガ比較的ソレニ遅レテ居ルヤウナ話ガ從來屢、財界アタリ、其ノ他ノ方面デモアツタノデアリマスガ、實際ハ情勢ノ必要ニ應ジテ斷片的ニ金融統制モ今日マデ行ハレテ來テ居ツタト私ハ思フノデアリマス、而シテ今度ノ改正案ハ斷片的ニ必要ニ應ジテ行ハレタ金融上ノ諸統制ヲ整備サレタモノノヤウニ思フノデアリマスカラ、大體ニ於テ御提案ハ妥當ノモノト思ツテ、私ハ贊意ヲ表スルニ吝カデナイノデアリマスガ、唯一點管理通貨制度ノ御斷行ニ付テハ、私ハ

ドウシテモ御賛成申上ゲルコトハ出来ナイノ
デアリマス、是ハ或ハ大藏大臣並ニ大藏當
局ハ、昭和六年十二月、元ノ高橋大藏大臣
ガ金本位制ノ離脱ヲ行ツテカラ、今日マデ
十數年金本位制ヲ離脱シテ居ルガ、何等變
ツタコトハナイ、既成事實ヲ認メタケダ
ト云フヤウナ輕々シイト申シテハ失禮カモ
知レマセヌガ、洵ニ輕イ御考ヘデナサツタ
ノデハアルマイカト私ハ考ヘテ居リマス、
若シ左様ナ輕イ考ヘデ此ノ提案ガナサレタ
モノナラバ、是ハ深ク大藏大臣初メ大藏當
局ノ御反省ヲ願ヒタイノデアリマス、貨幣
制度ノ根本ヲ變ヘルト云フコトハ極メテ重
大ナコトデアリマス、或ハ金本位ヲ停止ス
ルコトト廢止スルコトデハ形ノ上ニ於テハ
稍、似テ居ルヤウナコトデアリマスケレドモ、
將來經濟界ノ安定、即チ戰後ニ於ケル將來ヲ
見透シマス、是ハ非常ナ重大ナル影響ヲ
我が經濟界ニ及ボスモノデアルト思フノデ
アリマス、決シテ大藏當局ハ戰争ノゴタ
紛レニ便乘シテ御提案ニナツタモノトハ思
ヒマセヌ、併シナガラ今申上ゲタ點ニ向ツ
テ細心ナル御注意ガアツタトハ私ニハ思ハ
レナイ節ガアルノデアリマス、左様ナ意味
ニ於テ私ハ大藏大臣カラ御所信ヲ伺ヒタ
イ、之ヲ三ツ四ツニ分ケテ伺ヒタイノデア
リマス

申スマデモナク貨幣制度ノ問題ニ付テ
ハ、モウ長イ間學者間ニ於テモ色々ノ議論
ガアリマス、素材ニ價值ヲ認メルトカ、或
ハ組織ニ價值ヲ認メルトカ、或ハ國家ガ其
ノ貨幣ノ價值ヲ與ヘルモノダトカ色々ナ議
論ガ貨幣論者ノ間ニアリマス、コト三年ヤ
五年ノ問題デハナイ、長イ間ノ問題デア
ル、長イ間ノ問題ダガ、未ダ會テ定論ト云フモ

ノハ出デ居ラナイ、今日尙ホ貨幣論者ノ間
ニ色々ナ議論ガ闘ハサレテ居ルコトハ御承
知ノ通りデア
ル、果シテサウ云フ貨幣學上
ノ如何ナル理念ノ下ニ大藏大臣ガ管理通貨
制ヲ御採リニナツタノデア
ルカ、唯サウ云
フ貨幣學上ノ議論デナク、實際ノ必要ニ於
テ之ヲヤツタノダ、斯ウ云フコトデア
リマセ
ウカ、或ハ私ハサウデヤナイカト思フ、日
本ニ於テモ、「ドイツ」ニ於テモ實ハ私ガ申上
ゲルマデモナク金本位ヲ停止シタノハ日本ニ
金貨ガナクナツタカラデ、「ドイツ」モ其ノ
通りデア
ルト私ハ思フ、併シナガラ事實上
金ガナクナツタカラ貨幣制度ヲ擁護スル爲
ニ一時停止シタト云フノト、之ヲ根本カラ
廢止シテ、一國ノ通貨ハ管理通貨デ差支
ナイト云フノデハ、觀念ノ根本ニ非常ナ私
ハ相違ガアルト思フノデア
リマス、如何ナ
ル理論上ノ根據ニ依ツテ大藏大臣ハ管理通
貨制度ヲ御採用ニナツタカト云フコトガ第
一デア
リマス

第二ニハ私ノ今申上ゲタヤウニ、金ノ不
足ノ爲ニ金本位ヲ停止シタモノデア
ルト云
フコトヲ御認メニナルカドウカ、若シ特殊
ノ理念ニ依ツタモノデア
ルト云フコトナ
ラバ、是ハ御認メニナラヌコトガ當然カモ知
レマセヌ、便宜上ノ問題カドウカト云フコ
トガ第二ノ問題デア
リマス

第一ノ問題ニ關聯シテ、御承知ノ通り昨
年ノ夏頃デシタカ春頃デシタカ、「ドイツ」
ノ經濟大臣ノ「フンク」ハ管理通貨ヲ辯護シ
テ、通貨ノ價值ノ元ハ國家ガ之ニ與ヘルモ
ノダト云フコトヲ聲明シテ居
リマス、又別
ノ機會ニ於キマシテ「フンク」ハ、貨幣ノ基
礎ハ一國ノ勞働力ト一國ノ生産力ダ、斯ウ
云フコトヲ言ツテ居
リマス、之ヲ他ノ言葉

コトハ過去ノ實際モ示シテ居
リマス、前ノ
世界大戰ノ際ノ日本ノ通貨狀況ノ如キモ、
金ガ根據ニナツテ居
ルコトハ必ズシモ貨幣
ノ數量ニ合ハナイノデア
ル、併シ當時ハマ
ダ金ガアリマスレバ貨幣ノ數量ガ増シテ物
資ノ購買力ガ起リマシタ際ニ、其ノ金ヲ外
國ニ現送スレバ外國カラ物資ガ入ツテ參
リマス、ソコデ購買力ト合フト云フヤウ
ナ事情モアルノデア
リマシデ、稍、意味ガア
リマシタガ、現在ノ世界ノ情勢ニ於キマシ
テハ、各國皆自國ノ經濟ヲ計畫的ニ運用致
シマスルカラ、金ヲ送レバ外國カラ欲シイ
物ヲ得ルト云フヤウナ狀態ニア
リマセヌ、詰リ國內ノ自由經濟ガ止ツタト同時ニ國際
經濟モ自由經濟ガ止リマシテ、其ノ作用ヲ
致シテ居
ラナイノデア
リマス、隨ヒマシテ
一國ノ通貨量ハ他ノ觀點カラ決メラルベキ
モノデア
ルト云フコトガ一ツ、但シ國際決
濟ニハ金ヲ送レバ決濟尻ハ決濟サレルトス
レバ、此ノ意味ニ於キマシテ金ノ效用ハア
ル、詰リ國內通貨ノ裏付デハナイ、更ニ極
端ナ言ヒ方デハアルト思ヒマスガ、一國ノ
物資ガ缺乏シマシテ金バカリ餘計アリマシ
タ際ニハ、非常ナ物價騰貴ヲ起シテ貨幣ノ
現實ノ價值ハ保テナイト思フノデア
リマス、結局國民ノ必要ナルモノ、國家ノ必要
ナルモノハ所要ノ物資デア
ル、銅デア
リ、鐵
デア
リ、米、麥、機械、船、鐵道デア
リマス、之ヲ動かス技術、勞力デア
リマス、金
ガ其ノ意味ニ於テ效果ヲナス、斯様ニ考
ヘテ居
リマスノデ、通貨制度ハ私ハ管理通
貨制度ニナルベキモノデア
ルト考ヘテ居
リマス、私率直ニ申シマス、此ノ事變ノ初
メ頃カラデモサウ致シテ宜シイト思ヒマシ

デ言ツテ見ルナラバ、一國ノ經濟力ガ元ダ、
斯ウ云フコトデア
リマスガ、併シ私ハ今議
論ヲスル譯デハナイケレドモ、是ハ非常ナ
錯覺ノ考ヘ方デハナイカト思フ、一國ノ
經濟力ヲ元トスルト云フコトハ貨幣ノ流通
量ヲ決定スル、例ヘバ勞働力ト國ノ生産力
トニ依ツテ量ルト云フノナラバ私ハ論理ガ
分ルケレドモ、貨幣制度ノ根本ヲサウ云フ
風ナ國力決メルト云フコトハ私ニハドウ
モ了解出来ナイノデア
ルガ、我が大藏大臣
モ「ドイツ」ノ「フンク」經濟大臣ト同ジヤウ
ナ考ヘ方デ、此ノ管理制度ヲ御採用ニナツ
タノデア
ルカドウカト云フコトガ、今申上
ゲタ一、二ノ點デア
リマス、先ヅソレヲ伺
ツテ次ニ移リタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 管理通貨制度採用、金本
位離脱ノ點デア
リマスルガ、是ハ私ハ急速
ニ決定致シタノデア
リマセヌ、貨幣ノ本
質理念並ニ社會通念、現實ニ經濟界、經濟
力ニ及ボス影響ヲ慎重ニ考ヘマシテ決定ヲ
致シマシタ、是ハ永久ノ制度ト致ス積リデ
ゴザイマス、ト申シマスノハ、私ハ前カラ
貨幣ハ金ガ裏付ケニアルカラ値打ガアルト
云フ考ヘヲ實ハ持ツテ居
ナイノデア
リマス、
貨幣ニ値打ガアルノハ、ソレニ依ツテ所要
ノ物資、勞力ヲ獲得出来ルカラ値打ガアル
ノデア
リマス、隨テ一國ノ生産力ト云フモ
ノガ裏付ケニナルト云フコトハ、餘程私ハ
意味ノアル言葉ダト思ヒマス、現ニ金本位
ニ於キマシテ貨幣數量ノ調節ノ如キモ、金
ガ多クアリマシタ場合ハ貨幣數量ガ多クテ
宜シイ、金ガ少イ場合ニハ、ソレニ應ジテ
少クテ經濟狀態ガ宜シイカト云フト決シテ
サウデハアリマセヌ、理論的ニ通貨ノ適量
ト云フモメガ金ノ高ニ相應スルモノデア
ナイ

タガ、是ハ併シ社會國民全部ガ使用致シマスモノデ、社會通念モ亦非常ニ尊重致サナケレバナラスモノデアリマスカラ、數年前ニ於キマシテハ金本位カラ、實際ノ作用ハ金本位カラ離脱致シマシテモ、形式ハマダ殘ス方ガ適當デアアル、今日ニ及ビマシテハ色々ノ御説モアリマセウガ、大體金本位カラ離脱致シマスコトニ依ツテ、別ニ社會經濟上不安ガ起ラナイト云フコトヲ考ヘマシテ、斯ウ云フ處置ヲ執ツタ譯デアリマス、金ガ餘リナイカラ、已ムヲ得ズ一時的手段ヲ執ルト云フ考ヘデアリマセヌ、金ガアリマシテモ斯ウ行ツテ差支ヘナイデアラウト思ヒマス、アメリカノ如ク非常ニ金ガアリマス場合ニハ、寧ロ之ヲ如何ニシテ金準備カラ除ケベキカト云フ問題ガ、逆ニ多イ場合モ起ルベキ事柄デアラウト思フノデアリマス、大體左様ナ考ヘ方デスウ云フ制度ニ致シタイト存ズル次第デアリマス

○武田委員 今大藏大臣ノ御所見ヲ承ルト、貨幣論者ノ所謂名目論ト云フヤウナ理論ト一致シテ居ルヤウナ御趣旨デゴザイマス、併シソレ等ノコトヲ申上ゲマスト、此處デ學術的ノ論争ヲヤルヤウナコトニナツテ——大藏大臣ガ深ク左様ナ御考ヘヲ持ツテ居ラルト云フコトデアリマスカラ、根本的ノ考ヘ方トシテ私ト違ツテ居ルト云フダケノコトデアリマシテ、此處デ「アカデミツク」ヲ論争スルコトハ避ケタイト思ヒマス、併シナガラ大藏大臣御自身モ今御説明ニナツタ如ク、貿易尻ヲ此ノ名目論的ニ貨幣決濟出來ナイコトハ明白デアリマス、「ドイツ」ノ「フランク」經濟相モ、貿易ノ決濟尻ハ別ニ考究シナケレバナラスト云フコトヲ言ツテ、ドウスルカト云フコトノ結論ハ

マダ示シテ居リマセヌ、是ハ大藏大臣ノ御話ノ如ク、現在ノ如ク金ヲヤツテモ物ハ買ヘナイ、極端ニ世界經濟ガ閉鎖サレテ居ルヤウナ今日ニ於テハ御説ノ通りデアリマス、併シ今御提案ニナツタ日本銀行法ハ、長キ將來ノ恒久的立法ダト私ハ解シテ居リマス、隨テ戰後ニ如何ナル經濟狀態ガ、日本ノ共榮國竝ニ世界全體ニ行ハルルカト云フ見透シナシニハ、私ハ此ノ立法ハ出來ナイ筈ダト思フノデアリマス、如何様ナ所謂「ブロック」經濟ガ行ハレタニセヨ、全然完全ナル自給自足ノ共榮國トカ、廣域經濟國ト云フモノハ出來ル筈ガナイト私ハ思フ、是ハ「ドイツ」ノ「フランク」經濟相ナドモ認メテ居ル、サウ云フ場合ニ——何レ戰後ニ於テドウ云フ形ニナルカ、國家ト國家トノ間ニ貿易ガ行ハレルヤウニナルカ、經濟國ト經濟國トノ間ニ貿易ガ行ハルコトニナルカ、或ル制限ノ下ニ個人ト個人トノ間ニ貿易ガ行ハレコトニナルカ、ソレハ各、考ヘ方ニ依リマセウシ、茲ニ確定的ノ見透シヲ付ケルコトハ困難デアリマス、併シナガラ何等カノ形ニ於テ世界經濟ガ尙ホ存續スルト云フコトダケハ、私ハ見透シテ宜イノデハナイカト思フノデアリマス、大藏大臣ハ戰後ニ於テモ世界經濟ト云フモノハ存續シナイ、完全ナル「ブロック」經濟ガ出來テ、其ノ「ブロック」ノ間ニ於テ管理通貨デヤツテ行ケルモノダト、斯ウ云フ御信念ノ下ニアルノデアリマセウカ、私ハ此ノ一ツノ「ブロック」内ニ於テモ果シテ管理通貨デ行ケルカドウカニ疑問ヲ持ツテ居リマスガ、併シ是ハ假ニ其ノ「ブロック」内ダケハ出來ルモノト假定致シマシテモ、今私ノ想像スルガ如ク、戰後ニ於テ或ル程度ノ世界經濟ガ行ハ

レ得ルト云フコトモ豫想致シマスナラバ、私ハ世界ニ通ジタ價值ノ單位、同一ノ單位——同一ノ單位ト云フコトハ、圓ガ同一ノ金ノ何処ト云フコトト同ジ意味デアリマセヌ、同質ノモノデ貨幣ノ單位ヲ決メルト云フ、即チ共通ノ尺度ガナケレバ世界經濟ハ成立タスト思フ、サウ云フコトニ付テ、大藏大臣ハ如何ナル考ヘ方ヲシテ居ラレノデアリマセウカ

○賀屋國務大臣 只今ハ世界ノ秩序建設ニ付キマシテ、意見ノ合ハナイ國家群ガ相對シテ居リマシテ、所謂「ブロック」經濟ガ行ハレテ居リマスガ、併シナガラ人間ノ理想ト致シマシテハ、萬邦協和、互ニ相協力シマシテ、人生ノ生成發展ヲ圖ルト云フコトデアリマス、併シ其ノ場合ニ於キマシテモ、ヤハリ或ル國家群ガ共同ノ目的ヲ以テ一ツノ單位ト申シマスガ、塊リトナル、サウ云フモノガ相互間ニ於テ有無相通ジ、人生ノ生活ノ豐富ナルコトヲ企圖スルト云フコトハ、是ハ寧ロ將來ニ於テサウ云フ時代ガ出現スルコトハ、人類共通ノ望ミデナケレバナラスノデアリマス、サウ云フ時ニ「ブロック」相互間ニ於ケル物資ノ交流ト云フコトハ、是非ハ起サナケレバナラス、サウスルト其ノ決濟ガ、兩方ガ常ニ或ル一定ノ期間、必ズウマク輸出入ノ出合ヒガ取レルト云フ譯ニモ參リマセヌノデ、其ノ差額決濟ノ問題ガ起リマスコトハ、御説ノ通りデアラウト思ヒマス、ソレニ付キマシテハ從來ノ形デ申シマスレバ一種ノ清算協定デ、其ノ差額ハ決濟銀行ノ勘定ニ殘ストカ、或ハソレガ大キクナリマスレバ、「クレデット」ヲ用ヒマスツカ、或ハ金ヲ現送シテ其ノ結末ヲ付ケルトカ、是ハ從來ノ例デアリマス

ガ、今後ノ世界ハ大戰ヲ經マシタ後ニ、ドウ云フ様相ニナルカト云フコトハ俄カニ斷定ハ出來マセヌガ、ヤハリ想像致セバ左様ナコトガ行ハレラデアラウト思フノデアリマス、ソレガ今ノヤウニ相互ノ間ガ仲好ク參リマス或ル期間ハ、片方ハ受取ニナルガ、次ニハ又片方ガ受取ニナリ、片方ハ支拂ニ變ルト云フ風ニ比較的——或ル時期毎ニハ調節ガ出來ナイデモ、其ノ時期ノ數個ノ間ニ於テハ「バランス」ヲ得ルト云フヤウナ場合ニ於テハ、協定のノ方法ニ依リマシテ、一時借り、又貸シテ置クト云フコトデ、十分決濟ハ付クト思ヒマス、ソレガサウナナイ場合ニ於キマシテハ、或ル程度ニ金デヤルト云フコトモアラウト思ヒマス、併シ世界各國ガ金本位ヲ離脱致シマシタ場合ニ金ガ過剰ニナリマス、金ヲ又喜バナイト云フコトモ起ルカモ知レマセヌ、併シソレガマダ豫測ガ出來ニクイト思ヒマス、ソレデ將來金ガ其ノ意味ニ於テ全然無用ニナルトハ考ヘマセヌノデ、國際決濟上相當ニ要ル場合モアルデアラウト思ヒマス、ソレカラ又ソレニ行ク前ノ段階ニ於テモ、私ハ或ル程度要ルト云フコトヲ考ヘマシテ、只今日本ニ於ケル産金ノ獎勵モ、全ク止メルナドト云フコトハ考ヘテ居リマセヌ、併シナガラ是ガ爲ニ國內通貨ノ價值ノ基準ヲ金ニ置カナケレバナラストハ考ヘテ居ナイノデアリマシテ、金ノ職能ヲ少シ變ツタ方面ニ意味ヲ認メテ居ル、斯ウ云フ考ヘ方デアリマス

○西川委員 此ノ問題ハ極メテ重大ナ問題デ、私ハ尙ホ機會ヲ得テ質問シタイト思ヒマスガ、只今ノ大藏大臣ノ御答辯ニハ少シ納得シ難イ點ガアルノデ、簡單ニ一點御伺ヒ致シタイ、此ノ法律ガ成立致シマシテ

モ、貨幣法ト云フモノハ活キテ居ルノデア
リマセウカ、此ノ點ハドウデスカ、貨幣法
ガ活キテ居ルトスルナラバ、大日本帝國ノ
本位貨幣ガ「純金ノ量目七百五十ミリグラ
ムヲ以テ價格ノ單位ト爲シ之ヲ圓ト稱ス」
ト云フ、此ノ一項目ハ消エナイデハナイカ、
或ハ昭和十二年八月十一日ノ評價ノ改正ニ
依リマシテ、二百九十「ミリグラム」ヲ以テ
價格ノ單位トナシ之ヲ圓ト稱ス、價格ノ單
位ハヤハク金ノ或ル量目ガ單位トナツテ居
ル、之ヲ圓ト稱ス、其ノ圓ニ基準致シマシ
テ茲ニ兌換銀行券ナラザル強制通用力ヲ持
ツテ居ル銀行券ガ發行サレルノデアルト思
ヒマス、只今大藏大臣ノ御説明ニナツタヤ
ウナ意味ニ於テ完全ニ日本ガ金本位制ヲ脱
却シテ行クノデアラウカ、詰リ價值ノ單位
トシテ金ヲ認メナイト云フ御答辯ニナツタ
ガ、圓ト云フモノハヤハリ金一定量目ニ結
ビ付イタ價格ノ單位トシテ之ヲ認メテ居ル
ノデハナイカ、貨幣法ト本法トノ關係ニ付
テ一寸伺ヒマス

○賀屋國務大臣 兩方ノ關係ニ付テハ御話
ノ通りデアリマス、事實上日本銀行券ヲ兌
換準備トセズ、法律上ノ無制限ノ通貨力ト
致シテ居リマスカラ、事實上金本位ヲ脱却
シテ居リ、ソレデ私モ申上ゲテ居ル、貨幣
法モ追ツテハ改正ノ手續モ必要ダト思ヒマ
スガ、只今修正ノ必要モゴザイマセヌノデ
其ノ儘ニ致シテ居リマス

○板谷委員長 武田君、今本會議ノ「ベル」
ガ鳴ツテ居ルヤウデアリマスガ、重要法案
ガ上程サレマスノデ

○武田委員 ソレデハ此ノ次ノ機會ニ譲リ
マス

○板谷委員長 併シアト大分皆様ノ御質問

ガ問ヘテ居リマスカラ……

○武田委員 此ノ法案ニ賛成スルカシナイ
カラ決定スル重要ナ「ポイント」デアリマス
カラ……

○板谷委員長 ソレデハ此ノ次ニ願ヒマス、
本日ハ是ニテ散會致シマス、實ハ明日ハ午
前中ニヤリタイ考ヘデアリマシタケレド
モ、部屋ノ都合ガ惡イサウデアリマスカラ
午後一時カラ開會致シマス
午後四時一分散會

昭和十七年一月二十八日印刷

昭和十七年一月二十九日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局